

SAPIX	4年		
	算数		
学習内容	6月の学習内容 14回『面積の考え方(2)』 15回『総合(11~14)』 16回『分数の基本』 17回『つるかめ算』		
家庭学習ポイント	第14回では三角形、ひし形、台形などの面積の求め方を学び、実際に公式を使って面積を求める練習をしていきます。ついつい面積を求めることが中心だと考えてしまいがちですが、その公式を理解すること(=なぜそのような公式で面積を求めることができるかを説明できるようにしておくこと)が大切です。第15回は総合で11回~14回の復習になります。サピックスのカリキュラムは「スパイラル」と呼ばれ、同じ単元を期間をおいて何度も学習するということになっていますが、次に出てくるときには同じ単元でも難度が上がっています。つまり「今しっかり理解を深めて身につけておく」ことが大切です。この「総合」の機会を有効に使いましょう。第16回「分数の基本」では基本的な分数の意味(〜つに分けた〜つ分)から始まり、約分、仮分数⇔帯分数の変換や通分による大きさ比べまで習ってしまいます。「分母と分子の差が〜で・・・」といった問題は入試問題の小問レベルです。第17回ではつるかめ算の基本パターンを表、そして面積図を使って考える方法を学びます。この機会に「文章題は種類を問わずしっかり手を動かして考える」という習慣をつけてしまいましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	面積の公式を説明できますか？	チェック
	解決策	公式は「使って計算するもの」だけではないと理解しておくことが大切です	□
	チェック2	分数の大小をいろんな方法で比較することができますか？	チェック
	解決策	分母が同じなら分子を、分子が同じなら分母を比べ、どちらも違うなら通分を	□
	チェック3	約分して1/4になる分数は、つねに分母が分子の4倍だと理解していますか？	チェック
	解決策	この感覚があると、以後高学年で比を学習するときに大いに役立ちます	□
	チェック4	つるかめ算を面積図を使って解くことができる理由を説明できますか？	チェック
	解決策	公式同様、図についても「なぜそれを使うのか」を説明できるようにしておきましょう	□
	チェック5	どのような問題であればつるかめ算の考え方で解けるか、説明できますか？	チェック
解決策	「2つのものが混じっていてそれぞれの個数はわからないんだけど」くらいが出てくればOK	□	
SAPIX	4年		
	国語		
学習内容	6月の学習内容 14回 コトノハ/雨、雨、ふれふれ 物語文 15回 コトノハ/宝物を見つけよう 説明文 16回 知の冒険/言葉をバラバラにしてみよう！ 物語文 17回 コトノハ/堪忍袋の緒 物語文		
家庭学習ポイント	14回では季節にちなんで「雨、雨、ふれふれ」というテーマです。4年生のうちには物語文が中心の学習になりますが、この時期に「読んで内容がわかる」だけではなくA授業の「読解メソッド」やB授業の記述をしっかりとこなして「読解問題を解く」という読み方を身につけておくことが大切です。第15回では「読書」がテーマです。受験勉強では問題を解く際に読む文章だけで、かなりの「読書量」になりますが、それとは別に好きなタイプの本を探して読んでみたり、国語の文章で面白いと感じた文章があれば、その本を読んでみると行った経験も、特に4年生のうちにはいいことですね。第16回では「品詞」を扱います。「名詞」「動詞」「形容詞」「形容動詞」の性質と使い方を理解することが大切です。「言い切りの形」などを覚えることも大切ですが、代表的な言葉を2、3覚えておくのも手っ取り早いですね。		
課題の把握と解決策	チェック1	A授業「読解メソッド」の解説を活用できていますか？	チェック
	解決策	自分なりに考えて解くことも大切ですが、解説の赤字も読んで参考にしてみましょう	□
	チェック2	B授業の記述部分が空白だらけになっていませんか？	チェック
	解決策	記述はまず「とりあえず書いてみる」ことが大切です	□
	チェック3	問題の文章を全部読んでから問題を解いていますか？	チェック
	解決策	特に4年生のうちに「素早く全部読む」技術をつけておくことは重要です	□
	チェック4	文章を読むとき「ただ字面を追っている」状況になっていませんか？	チェック
	解決策	一人でなかなか進まないようなら、親子で一文ずつ「読み合い」をするのも効果的です	□
	チェック5	品詞の区別が確実にできていますか？	チェック
解決策	親御さんがランダムに言った言葉の品詞名を答える、といったゲームもいいですよ	□	

SAPIX	4年		
	理科		
学習内容	6月の学習内容 14回『水に溶けているもの』 15回『水と溶けているもの』 16回『ミツのヒミツ』 17回『植物の誕生日はいつ?』		
家庭学習ポイント	14回ではいろいろな水溶液の性質について学びます。まずは「溶けているもの＝溶質」が固体・液体・気体のどれなのか、そしてにおいがあるのか（あるならどのようなにおいか）、そして酸性・中性・アルカリ性のいずれであるかをしっかり押さえましょう。リトマス紙やBTB溶液など指示薬の色の変化も確実に覚えておく必要があります。「アルカリ性＝アルカリイオン飲料（＝スポーツドリンク）＝リトマス紙は青（になる）」「酸性＝炭酸水（＝コーラ）＝リトマス紙は赤くなる」といったイメージや、語呂合わせで覚えるなど、いろいろな方法を試してみましょう。15回は14回の続き、おもに実験や器具の使い方について学びます。濾過の際のろ紙の折り方などは入試でも頻出です。またアルコールランプやガスバーナーなども水溶液の実験では多用しますが、火を使うため、すべてにおいて「安全」が優先されます。使い方においても「安全」キーワードにすると覚えやすい事柄がたくさんあります。16回では花のつくり、受粉～実ができるまでの様子を学びます。重要事項は多岐にわたりますが、「アブラナのなかま（アブラナ科）」「エンドウのなかま（マメ科）」と4年生のうちから「～科」を意識して記憶、分類しておくとういでしょう。17回は種子の発芽について学びます。発芽の3条件など確実に押さえておきましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	水溶液の名前を聞いて、おおまかな性質を答えられますか？	チェック
	解決策	溶けているものが固体・液体・気体のいずれか、また酸性・中性・アルカリ性で答えよう	□
	チェック2	砂糖水の水を蒸発させると何色の固体が残るか正しく答えられますか？	チェック
	解決策	溶かしたものの結晶が出てくるものが多いのですが、砂糖は黒く焦げます	□
	チェック3	タンポポは風媒花か虫媒花か、正しく答えられますか？	チェック
	解決策	タンポポの種子は風で飛ばされますが、花粉は昆虫によって受粉する虫媒花です	□
	チェック4	インゲンマメ、カキ、イネの種子の断面図が描けますか？	チェック
	解決策	なぜ上記の3種なのかも答えられますか？ヒントは「有胚乳・無胚乳」「双子葉・単子葉」です	□
	チェック5	デイリーサピックスの「季節の図鑑」を親子で読んでいますか？	チェック
解決策	ぜひ親子で読んで、いろいろなお話をしてみてください	□	
SAPIX	4年		
	社会		
学習内容	6月の学習内容 14回 地形と気候（4）～中部地方・その1～ 15回 地形と気候（5）～中部地方・その2～ 16回 地形と気候（6）～近畿地方～ 17回 地形と気候（7）～中国地方・四国地方～		
家庭学習ポイント	14回では中部地方の地形と気候について、まずは中部地方の全体像、山地と山脈・気候、半島と湾・海流などについて学習します。中部地方は広く、沿岸部と内陸部、また日本海側と太平洋側で気候も大きく違います。それぞれの気候をいくつかの切り口でしっかり把握しておきましょう。15回中部地方の2回目、川と平地、島と湖について学びます。川などはその名前だけでなく「木曾川＝輪中」「長良川＝鶉飼」「富士川＝日本三大急流」といったキーワードとともに覚える、また流れる平野や注ぐ湾とセットで覚えるなど、それぞれに関連性をもたせて頭に入れるようにすると、知識に厚みが出ます。16回は近畿地方です。近畿地方は大きな山地（紀伊山地）や川（淀川）が少なく比較的覚えるべきことが少ない地方です。一方で日本最大の湖（琵琶湖）があり、歴史的な建造物が多い（世界遺産など）といった特徴もあります。さまざまなことを関連させて知識をつけていきましょう。その意味では「ソシオスコープ」「みどり先生のもっと知りたい」などもしっかり利用したいですね。17回では中国地方・四国地方について学習します。こちらも対象になる地域は広いですが、大きな山地や川は少ないので、しっかり白地図などに整理して覚えておきましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	「日本アルプス」を構成する3つの山脈を答えられますか？	チェック
	解決策	飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈、いずれも3000m級の山脈です。中部地方の自然はダイナミックです	□
	チェック2	雨温図を見て、大体どの都市のものか判別できますか？	チェック
	解決策	その土地の地理的要因を正しく理解していることが重要ですね。	□
	チェック3	毎回の「ソシオスコープ」はしっかり読んでいますか？	チェック
	解決策	写真や図版などでその地方を理解しやすい構成になっています	□
	チェック4	毎回の「みどり先生のもっと知りたい」はしっかり読んでいますか？	チェック
	解決策	目の前の点数にすぐに結びつくとは限りませんが、入試頻出です	□
	チェック5	社会の学習に「白地図トレーニング」を活用していますか？	チェック
解決策	社会の学習には「必須」と考え、必ず自分で書き込んで整理しましょう	□	